

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	区内の生活交通社会実験 区バスや住民バスなどを含む生活交通の再構築を行い、持続可能な公共交通体系を構築するため、社会実験の実施に対して補助を行う。						
款・項・目	土木費 都市計画費 都市計画総務費						
所属等	都市政策部 都市交通政策課 地域交通整備室 電話025-226-2750						

年度		令和5年度（1年目）	令和6年度（2年目）	令和7年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	3,912	5,705	4,493
	決算(千円)	3,818	5,506	4,493 見込み
補助率		欠損全額補助	欠損全額補助	欠損全額補助
目標		本格運行に向けての、利用者データの収集や課題の検討、利用の啓発。 実施3年目に本格運用に必要な経費以上の収入を確保する。 <目標が数値でない場合の評価方法>		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			100.0% 2路線中2路線が達成（見込み）
	達成率80%以上			
	達成率50%以上	50.0%	2路線中1路線が未達成	
	達成率50%未満		0.0%	2路線中2路線が未達成
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください			
補助事業者による情報の公表				

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 利用者数の増加に向けた積極的な利用促進PRや利用者から収受する運賃の精査を行うことで収支率の向上を図る。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 引き続き、地域の移動手段確保に向けて、持続可能な公共交通体系を構築するため、社会実験の実施に対して補助を行う。					